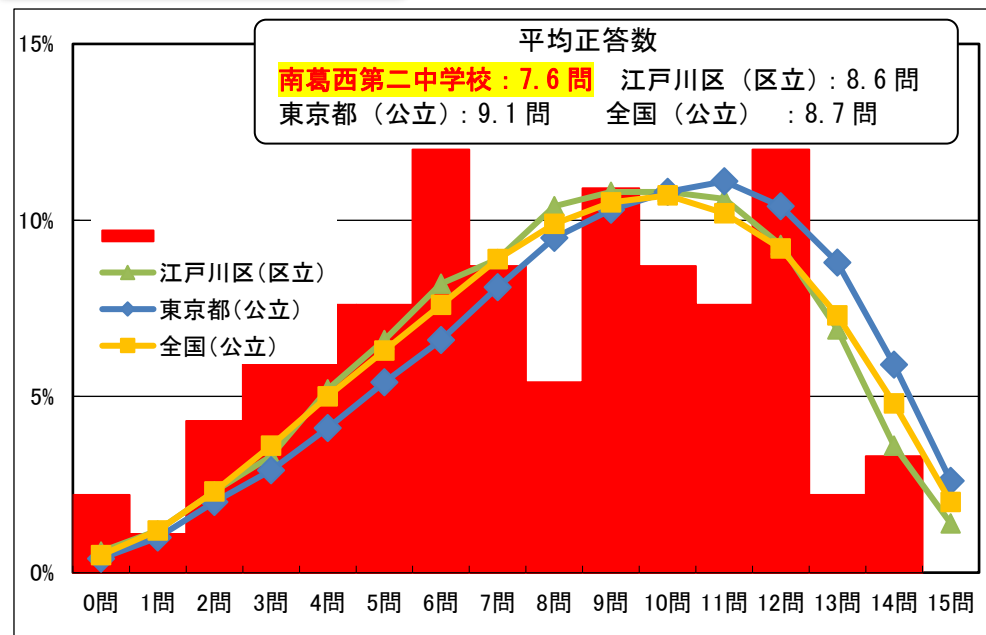


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 南葛西第二中学校

正 答 数 分 布

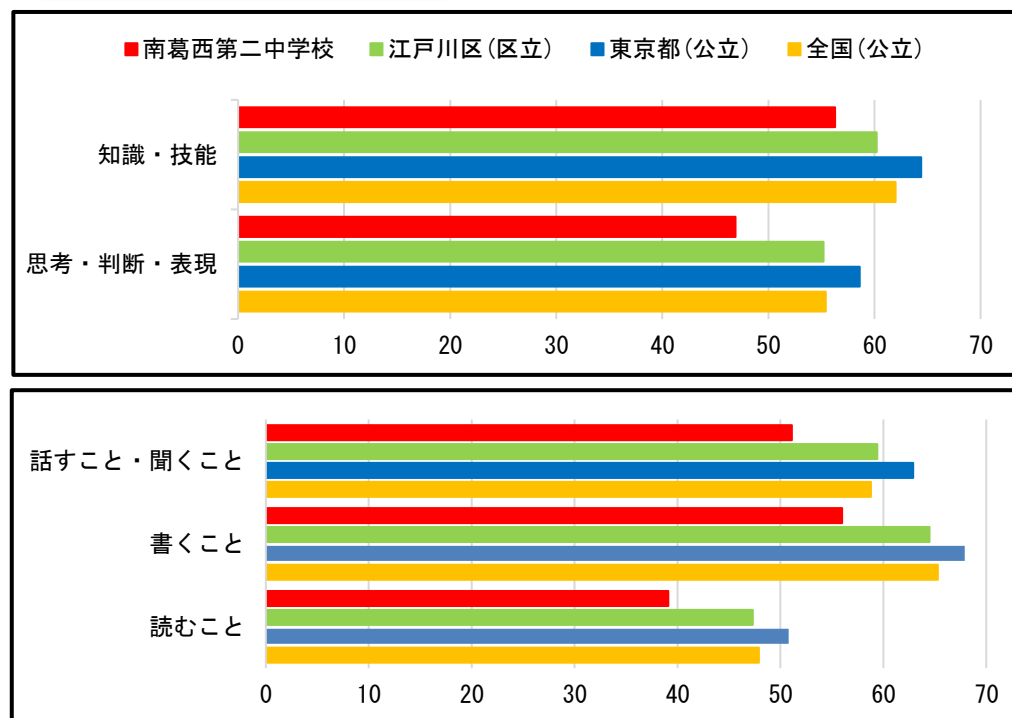


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国 語	上 位 ← 下 位			
	A層 12～15 問	B層 9～11 問	C層 7～8 問	D層 0～6 問
南葛西第二中学校	5.5	28.3	16.3	49.9
江戸川区（区立）	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都（公立）	27.7	32.2	17.6	22.5
全国（公立）	23.3	31.4	18.8	26.5

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

南葛西第二中学校	51%
江戸川区（区立）	57%
東京都（公立）	61%
全国（公立）	58.1%
都との差	10ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

領域別の結果から、各観点とも都の平均より10ポイント以上低い。また四分位でA層が著しく少なく、D層が顕著に多い。まずはD層を底上げするべく、習熟度を把握して基礎・基本の徹底を図ることに重点を置く指導を心がける。また「読むこと」と連動させて「書くこと」の指導も同時に進められるように、長文読解に取り組みつつ、自身の考えをアウトプットすることを意識させる授業を開発・展開していく。